

愛知の渇水工業被害303億円

異常渇水に伴う愛知県下の工業被害が九月末で三百三億円になっていることが四日開かれた同県議会企業商工委員会で明らかになった。八月末では二百六十一億円だったのに比べ、四十二億円増えており、被害はさらに増える見込み。

内訳はタンカーなどでの運搬や井戸水のくみ上げにかかった対策費が二十五億円、節水によるライン停止や操業短縮による減産分が二百七十八億円に上る。

平成6年10月3日 中日新聞

石化市の四日
コンビナート

渇水被害150億円

生産調整や水確保出費

三重県企業庁の北伊勢工業用水から受水する四日市石油化学コンビナートなどの工場のうち、九割程度が工業用水の不足で生産調整など何らかの影響を受け、被害額は八月末現在で、計百五十億円近くに上ることが、六日までに分かった。

企業庁は、八月末時点を含め、計百五十億円近くを上っている。

で、主要水源である木曾川総合用水の厳しい節水を受けて、七月中旬から給水制限を順次強め、八月四日以降は五〇%、同十五日からは六〇%カットに。

企業庁は、八月末時点を含め、計百五十億円近くに上ることが、六日までに分かった。

企業庁は、八月末時点を含め、計百五十億円近くに上ることが、六日までに分かった。

同用水から供給を受けているのは同コンビナートに立地する石化メーカー中心に六十四社、七十五工場。同工水は今回の異常渇水などによる損失、自己努力

平成6年9月7日 中日新聞